

地域子ども・子育て支援事業計画に関する提供区域の設定及び量の見込みと確保方策(案)

【時間外保育事業】

園で実施する事業のため、提供区域は教育・保育の提供区域と同様に3分割とします。

本庄地域(高崎線以北及び高崎線以南)は、補正前の量の見込みが利用実績を下回っているため、量の見込みの数値を補正します。過去2年の実績値の最大値を平成27年度の見込み数値とし、平成28年度以降は、補正前の数値の減少率をもとに算出しました。児玉地域は平成27年度の見込みが過去2年間の実績を上回っているため、補正なしとします。

確保方策の数値は、各園の定員数をもとに算出しました。

単位:人

本庄地域(高崎線以北)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(補正前)	101	96	93	92	87
量の見込み(補正後)	360	342	332	328	310
確保方策	430	430	430	430	430

【参考】実利用者数 平成25年度90人 平成24年度360人

本庄地域(高崎線以南)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(補正前)	170	163	159	152	150
量の見込み(補正後)	404	387	378	361	356
確保方策	725	725	725	725	725

【参考】実利用者数 平成25年度404人 平成24年度385人

児玉地域	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	89	86	82	79	75
確保方策	415	415	415	415	415

【参考】実利用者数 平成25年度86人 平成24年度87人

【ショートステイ事業】

市内1施設及び隣接市町等4施設の計5施設との委託契約により実施するため、市全域で1つの区域とします。

ニーズ調査結果は、実績に比べて乖離が大きいため、利用実績を考慮して量の見込みの補正を行います。補正後の量の見込みは過去3年の実績値の中の最高値に、24年度～25年度の利用者数の伸び率(1.24倍)を乗じたものを平成27年度の見込み数値とし、平成28年度以降は、補正前の数値の減少率をもとに算出しました。

平日に比べて土・日曜日の利用が多い傾向があるため、平成25年度実績をもとに曜日ごとの利用率を算出し、平成27年度～31年度の各年度の各曜日数に利用率を乗じて確保方策の数値を算出しました。

事業の認知度が低いので、事業のPRが必要であると考えます。

単位:人日

本庄市全体	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(補正前)	10,478	10,234	9,851	9,504	9,204
量の見込み(補正後)	32	31	30	29	28
確保方策	48	48	48	48	48

【参考】平成25年度の延利用人数26人(実人数7人)

平成24年度の " 21人(" 3人)

平成23年度の " 2人(" 1人)

【病児・病後児保育事業】

ニーズ量・利用実績が少なく、不規則の利用であるため、区域を分けてサービスの提供を確保するのではなく、現状のまま特定の施設での提供で対応したいと考え、市全域で1つの区域とします。

補正前の量の見込みが利用実績を大きく下回っているため、量の見込みの数値を補正します。過去3年の実績値の最大値にニーズ調査の結果から得られた病児・病後児保育を利用した方の利用日数の平均値を乗じたものを平成27年度の見込み数値とし、平成28年度以降は、補正前の数値の減少率をもとに算出しました。この事業は、市内2施設で実施しており、確保方策の数値は、各施設の定員数に年間実施日数を乗じて算出しました。

現在実施している2施設はいずれも本庄地域の施設であり、利用者の方も本庄地域の方がほとんどですが、今後、児玉地域の利用者数が増加するようであれば、児玉地域での事業実施も推進する必要があります。

単位：人日

本庄市全体	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(補正前)	27	26	25	24	24
量の見込み(補正後)	922	888	854	820	820
確保方策	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700

【参考】延べ利用者数 平成25年度129人 平成24年度165人 平成23年度78人

【ファミリー・サポート・センター事業】

(福)社会福祉協議会への委託事業であり、地域区分をせずに実施する事業のため、市全域で1つの区域とします。

この事業については、ニーズ調査の回答結果からニーズ量が「0」となってしまうため、補正後のニーズ量は実績を考慮して算出しました。

確保方策の数値は、前年度の「利用件数÷サポートを行った援助会員の延べ人数」により、援助会員1人あたりのサポート件数を算出し、その値に前年度の各月のうちサポートを行った援助会員数の最大値(22人)及び12ヶ月を乗じて算出しました。

利用者数が年々増加していることから、今後も援助会員の増加を図ります。また、事業の認知度が高い割りに、利用意向が低いため、利用料金を低額にすること等、利用しやすくする方策についても検討する必要があります。

単位：人日

本庄市全体	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(補正前)	—	—	—	—	—
量の見込み(補正後)	1,400	1,500	1,600	1,600	1,600
確保方策	1,819	1,966	2,125	2,297	2,483

【参考】延べ利用者数 平成25年度1,316人 平成24年度1,106人 平成23年度688人